

	2011年・竹下市長	2012年・竹下市長	2013年・竹下市長	2014年・竹下市長	2015年・中村市長	2016年・中村市長
国の動き	①政権交代後最初の予算 ②経済成長、財政健全化、社会保障改革 東日本大震災発生	①東日本大震災からの復興 ②欧州政府債務危機	①安倍政権の「強い日本」。金融緩和、財政出動、成長戦略	①アベノミクスによる大幅円安と株高。	①まち・ひと・しごと創生事業 ②戦後70年	①「1億総活躍社会」 ②マイナンバー制度導入 (熊本地震発生)
一般会計予算	175億8900万円 5.5%増	172億9100万円 1.7%減	173億9000万円 0.6%増 前倒し補正含めると2.7%増	195億3100万円 12.3%増。過去最大規模 5プロジェクトに58億4500万円	200億5724万円 2.7%増。過去最大規模 3月補正で1億4109万円 総合戦略策定、空家・空地調	196億3364万円 2.1%減。 枠配分方式の一時中断 前期基本計画の最終年度
主な事業 (新規中心)	①2010年度で第3次行革終了、2011年度は行革の先の夢を描き、積極的活戦略的な事業展開に舵を切る。 ②市全域の都市計画区域編入を延期し、農業施策や地区計画など総合的に有効性を検討し、編入の可否や時期を検討。 ③市街化調整区域の地区計画策定の技術的支援を行う。 ④研修棟の建替を含めリーパスプラザ周辺の総合的整備検討。 ⑤新産業創出、地場企業支援のため商工政策課を設置。企業誘致推進本部設置。 ⑥元気おばちゃん支援事業。	①第4次総合振興計画スタート。地域経済を活性化することで、福祉や子育て支援、学校教育充実、地域の安全・安心の財源を確保し、誰もがいきいきと活躍できる持続可能な力強い自治体を目指す。戦略的かつ横断的な取組を「重点プロジェクト」と位置づけ推進する。 ②新規就農支援。 ③K-1グランプリ（食の祭典、スイーツコーン祭り、大吉プロジェクト） ④薬王寺温泉の観光拠点作り ⑤18歳までの入院医療費の助成開始 ⑥電気自動車、電動バイク購入 ⑦地域防災計画見直し、地震・津波ハザードマップ作成 ⑧研修棟の建替を含めリーパスプラザ周辺の総合的整備着手。 ⑨耕作放棄地を市で整地するモデル事業 ⑩循環型社会形成に向け廃棄物処理のあり方調査研究。 ⑪舞の里小の校庭芝生化。 ⑫スタンドアローン事業開始 ⑬市街化調整区域での県開発許可条例に基づく区域指定に向けた地元協議開始。 ⑭市街化区域での住宅購入・改築・新築支援。 ⑮特定用途制限地域の指定に向けた地元合意形成努力。 ⑯路線バス小竹系統増便。 ⑰75歳以上の安否確認緊急対応コール事業開始。	①人・農地プラン策定継続 ②企業誘致推進本部を中心に引き続き企業誘致を促進。 ③500箇所に海拔表示版設置 ④市民ウォーキングの開催 ⑤看護大学と連携し児童生徒期からの生活習慣病予防学習に取り組む。 ⑥ゲートキーパー、慢性腎臓病対策に取り組む。 ⑦第2次生涯学習基本計画策定。 ⑧研修棟を含めたリーパスプラザ周辺の実設計計を行う。 ⑨文化芸術振興計画を策定。 ⑩宮地岳線跡地の土地利用方針を検討 ⑪千鳥駅東口駅前周辺の整備を検討 ⑫滞納整理システムの導入、ファイナンシャルプランナーによる納税相談 ⑬市勢紹介リーフレットの作成	前年4月から人口の減少傾向 ①古賀駅東口の基本構想策定。 ②特産品づくりやその販路拡大 ③市内中小企業開発製品の官公庁販売実績で販路拡大支援。 ④生涯学習センターの建設や周辺施設の整備開始 ⑤船原古墳遺跡調査活用検討。 ⑥千鳥駅東口駅前周辺の整備、道路拡幅設計 ⑦花見東地区公園整備の開始。 ⑧グリーンパーク、クロスパル、コスモス館の上水道整備 ⑨興山園と薬王寺温泉の間の遊歩道整備 ⑩公共交通の市民意識調査、有識者含めた会議、方向性を検討 ⑪西鉄宮地岳線跡地の大根川以南の歩道整備。水上小山田線の歩道整備。 ⑫避難場所、緊急避難場所見直しと防災マップ作成。 ⑬耐震改修工事に要する費用の一部補助の開始。 ⑭市役所庁舎の耐震化工事、太陽光パネルと蓄電池の設置。 ⑮小6までの外来医療費助成。 ⑯ヘルスステーション設置。 ⑰舞の里地区認可保育所の整備補助。花見地区新規認可保育所運営補助。 ⑱古賀を歩こうの開催。 ⑲医療機関での特定健診の個人負担を軽減。 ⑳花鶴学童の新設、増級。 ㉑はり灸利用券枚数増。 ㉒市民正規雇用の奨励金。 ㉓自治基本条例の制定着手。 ㉔古賀北中エレベーター、青柳小プール改修補正) ㉕地域経済活性化を1番に掲げその成果が徐々にあらわれている。	①多面的機能発揮、農地及び農業用施設の維持管理活動支援 ②コスモス広場移動販売支援 ③グランドパス購入補助 ④企業誘致促進条例制定を視野に入れた検討加速 ⑤海津木苑の将来構想検討 ⑥バイオマス発電可能性検討 ⑦第3子以降の児童生徒の学校給食費補助 ⑧空家・空き地実態調査、所有者意向調査 ⑨組織率100%となった自主防災組織の資機材購入補助継続 ⑩防災行政無線デジタル化実施設計着手 ⑪井筒川護岸補修の設計 ⑫集団健診に歯周疾患検診追加 ⑬子育て情報誌の作成発行 ⑭ママ&キッズ安心タクシー認定 ⑮IPPPO ⑯生活困窮者の一体的自立支援 ⑰鹿部集会所のバリアフリー ⑱公共施設総合管理計画作成着手 ⑲地方創生総合戦略策定 ⑳被爆クスノキ祈念植樹	①企業誘致に向けた情報収集強化。（補正・新規） ②市民農園整備。 ③間伐材の有効利用。 ④バイオマス発電やスマートコミュニティ実現可能性を検討。 ⑤自然環境調査。 ⑥小中学校全学年の35人以下学級。第3子以降の児童生徒の学校給食補助拡充。 ⑦生涯学習センター供用開始。 ⑧旧隣保館2階を児童館として整備。 ⑨花鶴小学校の大規模改修。小中学校に防犯カメラ設置。 ⑩空家等対策協議会の設置。 ⑪70歳以上の100円バスの実証実験。 ⑫景観計画の策定。 ⑬ししぶ駅に駐輪場整備。 ⑭中川熊鶴線整備。 ⑮消防団に女性部創設。 ⑯第2次健康増進計画策定に向けた実態調査。 ⑰介護保険の総合事業導入。 ⑱前期基本計画の検証と後期基本計画の策定。 ⑲古賀駅東口再開発事業の実現可能性を図る調査。 ⑳ふるさと応援寄付返礼品拡充 ㉑参院選で当日投票時間短縮と期日前投票所の増設。 ㉒福岡都市圏の条件、子育て・教育・健康。企業誘致基盤整備。地方創生は好機。日本古来の精神文化。

（注）赤字の部分は建設産業部、市民部に係る事業。

㉒福岡都市圏の条件、子育て・教育・健康。企業誘致基盤整備。地方創生は好機。日本古来の精神文化。

	2011年・竹下市長	2012年・竹下市長	2013年・竹下市長	2014年・竹下市長	2015年・中村市長	2016年・中村市長
議会での主な出来事	<p><1月開催の定例会> ①竹下市長最初の定例会 <3月定例会> ①部設置条例で「収納管理課」 ②マスタープラン先送りについてパブコメ提出者、審議会委員に報告 <9月定例会> ①第4次総合振興計画について12月定例会に上程予定と説明。 <12月定例会> ①基本構想審査特別委員会設置。（西尾耕治委員長、内場恭子副委員長）</p>	<p><3月定例会> ①第4次総合振興計画基本構想を可決（反対3、賛成15） 委員長報告で5点の提言。 ②副市長空席（9月末まで） <9月定例会> ①副市長人事を賛成全員で可決。（坂本正美） ②資源循環型社会研究会に関する条例可決。 ③宮地岳線跡地先行取得・開発公社貸付2億5800万円。 ④篠林団地で固定資産税数千万円、新規雇用350人と答弁。 <12月定例会> ①竹下市長がマニフェストの8割着手と答弁。 ②地方交付税をカットして地方公務員の給与を削減する議案を可決の上、国に2度とやらないことを求める意見書を可決。</p>	<p><3月定例会> ①一般会計当初予算案に対し海外視察費（289万7千円）を減額する修正案を可決。 <6月定例会> ①議会基本条例案を可決 ②深夜花火規制条例を可決。 ③特定用途制限地域における建築物等における制限に関する条例案を議長（奴間）裁決で可決。 <9月定例会> ①地方税財源の充実確保を求める意見書（議運提出）を可決。 ②一般質問でソフトバンクファーム誘致運動。 <12月議会> ①一般会計補正予算で、私立保育所設置補助1億6000万円を減額する修正案を可決。（反対5、賛成13）</p>	<p><3月定例会> ①男女共同参画の市民部への移管の議案を否決した。（反対10、賛成8） ②竹下市長の名誉毀損裁判で最高裁が市長の上告を棄却したと報道。全協で市長の説明を受けた。 ③保育所整備事業補助に対する決議を可決した。（反対3、賛成15） <6月定例会> ①自治基本条例策定委員会条例を可決。 ②一般質問で企業誘致推進本部の機能強化など明らかに。 <9月定例会> ①議運報告で電子化について執行部の対応を求める。 <12月定例会> ①中村市長に交代したため1月に開会 ②生涯学習センターの工事請負契約を可決。 ③生ゴミ資源化の請願を採択。</p>	<p><3月定例会> ①中村市長が施政方針で10ヶ所以上の読み間違い。グランドパスの説明の訂正。 <6月定例会> ①緑地緩和条例を可決。緩和率15%に相当する面積は2ha。 ②一般質問では、千鳥駅東口の遅れ、自治基本条例の意義、水道料金30%値下げの可能性、地方創生総合戦略など。 <9月定例会> ①マイナンバーや小中学校図書館の開放などに質疑集中。 ②一般質問で人口目標65000人は10年単位なので基本骨格を変えないと答弁。 <12月定例会> ①企業立地促進条例を可決。 ②生涯学習センター条例を可決。 ③花見東地区公園の用地取得案件を可決。 ④まち・ひと・しごと特別委員会が最終報告。出された意見をすべて市長に手渡す。 ⑤バイオマス発電可能性調査は年度末に方向性が出されることが明らかに。 ⑥投票時間の2時間短縮、水道料金3割値下げに質問。 ⑦保健師の産休代替は任期付常勤保健師で対応と答弁。</p>	<p><3月定例会> ①中村市長が「企業誘致や開発に初めて踏み込んだ」と発言。 ②補正予算で地方創生加速加化交付金を見込んだものが委員会採決後に不採択となった。 ③国民健康保険税改定について大きな負担増であることから市長に市長声明の発表など5点を求める決議を可決。（反対2、賛成16） ④柴田俊一氏を副市長に選任する議案を可決。 ⑤議案の訂正等が目立つ。 ⑥地方創生アクションプラン、データヘルス計画等について会期中の委員会で説明を受ける。</p>